

# 整理された市の課題と 解決に向けた議論

1. 資料2でテーマごとに抽出された課題について整理を行った。
2. 整理された課題に対し、市や地域包括支援センター等がすでに行っている内容を「既存の取組み」に記載した。
3. 「今後必要な取組み」は資料2からの転記に加え、想定されるものを追加した。

# 推奨テーマ ○地域共生社会の実現に向けた取組みへの着手 ○フレイル・認知症などのリスク状態の早期発見

整理された課題	関連テーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<p><b>ゴミ出し困難な方への支援</b></p> <p>①認知機能低下・ため込み症等 ・認知症進行等によりゴミ捨てが困難【個4 自10.14】 ・分別できずゴミが出せない【自8】 ・買い物依存があり、捨てても物が溢れる【個25】</p> <p>②制度・サービス関連 ・ふれあい収集サービスの周知が不十分【推進：本庁】</p> <p><b>住民同士の見守りと連携</b></p> <p>③疾病の理解と地域の関わり ・認知症について周囲の理解が必要【個15.37.48.自18】 ・疾病等の知識に乏しく、介護者が対応に苦慮している【個3.9.12.40.44】</p> <p>④見守り関連 ・支援が必要な方の地域での見守りと専門職との連携【個1.4.10.11.14.16.21.29.39.48】</p>	<p>1. 認知症</p> <p>3. 多分野・地域共生</p> <p>6. 生活支援</p> <p>8. 孤立・孤独対策</p> <p>9. 見守り</p> <p>11.医療・介護連携</p> <p>12.権利擁護</p> <p>13.消費者被害</p> <p>14.地域包括ケアシステム</p>	<p>①・大掃除は公的サービスでまかなえず、ケアマネ等が行っている現状もある【推進：本庁】</p> <p>②・ふれあい収集(環境業務課) ・令和4年2月に変更された分別、収集方法についてのパートナー講座(廃棄物対策課) ・収集日や分別方法に関する無料アプリの提供(環境業務課)</p> <p>③・認知症サポーター養成講座 ・介護者のつどい ・小金原の8050・ひきこもりを考える【小金原2層】 ・くるみの会等の相談機関</p> <p>④・松戸市あんしん一声運動 ・マンションの繋がりづくり【本庁2層】</p>	<p>①・ふれあい収集やアプリ周知【推進:本庁】 ・より明確なゴミ出し、分別の表を作成【推進:六実六高台】 ・通勤、通学時にゴミ出しができる支援団体の立ち上げ【推進:六実六高台】 ・ゴミ屋敷となる原因についての実態把握 ・下取りできる場所についての情報収集【推進:常盤平】</p> <p>③・地域住民・商店等への啓発</p> <p>④・見守り方法の検討(感染症対策、個人情報等)【個21.51】 ・地域住民とケアマネジャー、サービス事業所など支援者同士のつながり【推進:小金原】</p>

〔〕内は話し合われた会議や2層ワーキングにて取組み検討中のものを示す

## 議論1. 推奨テーマ

- 地域共生社会の実現に向けた取組みへの着手
- フレイル・認知症などのリスク状態の早期発見

(1)ゴミ収集制度が浸透していないことに  
関連する課題・取組

(2)認知症のある方を多機関・多職種で支える

# 事例

- 80代 男性 独居 生活保護を受給 脳梗塞の既往
- 要介護 1
- ADLはおおむね自立だが、軽度の片麻痺があり、なんとか歩行ができる状態。
- 認知症あり
  - 生年月日や氏名は言えるが住所はあやふやである
- その他
  - 地域包括は1年程前の介護保険サービスの導入時から支援を続けている。
  - サービスは2年間下記の通り

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	デイ		デイ	ヘルパー	デイ	
	配食		配食		配食	

## ・ある夏の暑い日

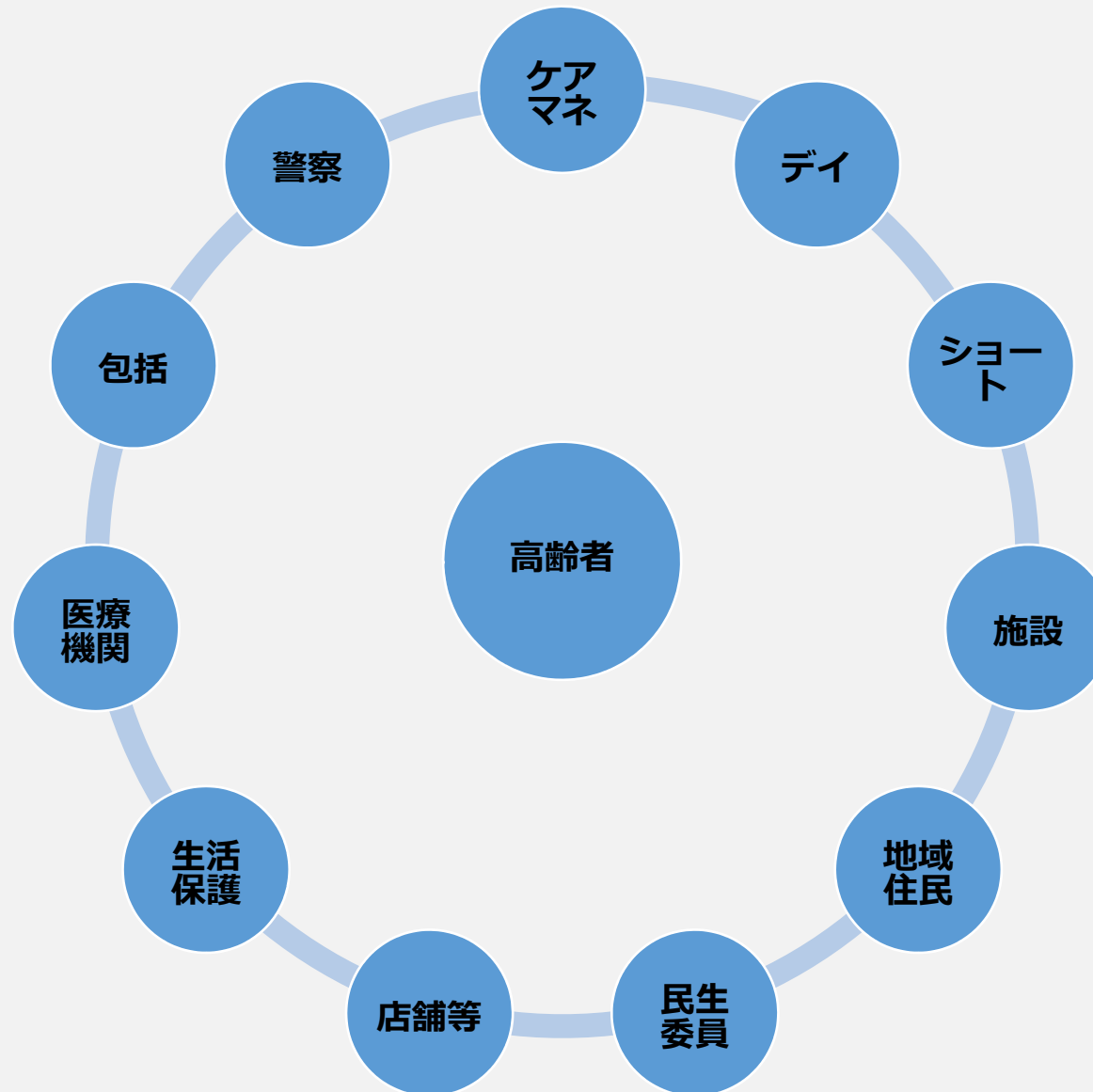
- ・全裸で外に出てしまい、それを見た近隣住民が警察へ通報、本人は逮捕された。その後、警察から包括に釈放後について相談があった。

## ・その後、明らかになったこと

- ・認知症発症後、全裸や下半身裸で外出してしまい、地域住民や買い物先の店舗に迷惑をかけていた。上記のようなことはデイやヘルパーのサービス提供中にもあった。
- ・本人はわいせつ的なことで脱いでいる様子はなく、暑い、服を着るのを忘れたという感じである。
- ・ケアマネ、生活保護ケースワーカー、包括は上記について把握していた。
- ・徘徊で、複数回警察で保護されており、その都度包括も支援している。
- ・1年以上の医療中断をしていた。
- ・家に冷暖房設備（クーラー等）はない。

# 検討事項

- どんな対策、対応ができるでしょうか。



# 災害等緊急時への備え

整理された課題	関連テーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と繋がりが希薄である場合、緊急時に助け合うことができない可能性がある。 【推進：馬橋西】</li> <li>・災害時に協力し合える世代を超えた関係づくり 【推進：明2東・馬橋】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 多分野・地域共生</li> <li>8. 孤立・孤独対策</li> <li>9. 見守り</li> <li>10. 災害</li> <li>11. 医療・介護連携</li> <li>14. 地域包括ケアシステム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップ（危機管理課）</li> <li>・避難行動要支援者名簿の整備（地域福祉課）</li> <li>・DIG訓練の実施【推進：明2東】</li> <li>・防災に関する勉強会・情報交換会【明2西2層】</li> <li>・災害に備える地域づくり【常盤平2層】</li> <li>・在宅人工呼吸器使用者への非常電源購入補助（健康福祉政策課）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DIG訓練のさらなる活用</li> <li>・地域資源マップ（災害編）〔明第2東2層〕</li> <li>・災害弱者の方を暮らしの中で無理なく見守れる仕組みづくり〔常盤平2層〕</li> <li>・災害時の情報通信等、つながりを継続するための備え</li> </ul>

〔〕内は話し合われた会議や2層ワーキングにて取組み検討中のものを示す

## 議論2. 災害等緊急時への備え

災害等の緊急時に支援を止めないために備えておくべきことは何か

1. 地域で取り組めること
2. 行政・医療・介護事業者が取り組めること